

千葉都市モノレール株式会社

第40期（平成29年度）事業報告の概要

平成30年6月22日
千葉都市モノレール株式会社

○第40期（平成29年度）事業報告の概要

1 事業の概況

当期は、新たな中期経営計画のスタートの年であり、計画事業の着実な推進はもとより、当社の経営状況や諸情勢の変化を的確に捉え、中期経営計画の基本戦略である「サービスの向上・利便性の追求」、「持続的経営の推進」、「安全・安心の徹底」の3項目を『平成29年度経営戦略』に顕示し、その意義を全社員がしっかりと認識し一丸となって取り組みました。

当社は、おかげさまで3月28日に開業30周年を迎えることが出来ました。そこで、これまでのお客様や地域の皆様への感謝の気持ちと、これからの決意を伝えるために、「開業30周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、記念事業に着手しました。

当期の営業成績としては、輸送人員で6期連続の増加となり、運輸収入においても過去最高の実績となりました。

事業の基盤である安全面では、車両基地軌道桁及び支柱の耐震補強や千葉駅吊り天井落下防止対策工事に着手したほか、重点課題としている施設の経年劣化や走行床転落防止などの安全対策にも取り組んでいます。

2 営業実績

当期の輸送人員は1,875万2千人になり、前期と比べ71万6千人増加しました。

内訳としては、定期外輸送人員で26万5千人増加、定期輸送人員で45万1千人増加しました。

定期外輸送人員及び定期輸送人員の増加要因については、次のように分析しています。

【定期外輸送人員の増加要因】

- (1) JR千葉駅との連絡通路開通により乗り換えの利便性向上（平成28年11月～）
- (2) 天台駅前に商業施設（Skipp天台）オープン（4月～）
- (3) 高等学校陸上競技関東大会開催（6月）
- (4) JR千葉駅ビル（千葉ペリエ）オープンによる集客効果（9月～）
- (5) 「駅メモ！」とのコラボイベント実施、千葉市のシンボル「加曽利貝塚・オオガハス・千葉氏・海辺」を巡る「千葉市がもっと『好き♡』になるスタンプラリー」を同時開催（12月～）
- (6) 降雪による大幅な利用者増（1月）

【定期輸送人員の増加要因】

- (1) 1km条例圏内の宅地化による人口増加（若葉区）
- (2) JR千葉駅との連絡通路効果と推定される、千葉みなと、市役所前、作草部、天台の各駅からの近距離利用者の増加
- (3) 千葉みなと駅、市役所前駅付近のマンション建設
- (4) 穴川駅 沿線の専門学校（国際理工情報デザイン専門学校）の生徒数の増加

一方、運輸収入は33億300万円となり、前期と比べ1億2,100万円増加しました。
内訳としては、定期外収入で6,600万円増加、定期収入で5,500万円増加しました。

(参考)

輸送人員・運輸収入

	当 期 (平成29年度)	前 期 (平成28年度)	増 減	対前期比
輸送人員	(千人)	(千人)	(千人)	(%)
定期外	8,874	8,609	265	103.08
定 期	9,878	9,427	451	104.79
合 計	18,752	18,036	716	103.97
運輸収入	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
定期外	1,993	1,926	66	103.44
定 期	1,310	1,255	55	104.40
合 計	3,303	3,182	121	103.82

(単位未満の端数切捨)

3 主な取り組み

(1) サービスの向上・利便性の追求

- ・旅客動向に合わせた臨時列車の運行
- ・「お客様の声」への対応
- ・駅照明のLED化
- ・駅係員のサービス介助資格取得

(2) 持続的経営の推進

- ・ラッピング広告車両の拡大
- ・地域限定旅行業を通じた魅力発信
- ・スマホアプリゲームとのコラボレーション
- ・女性が働きやすい環境の整備

(3) 安全対策

- ・運輸安全マネジメント評価の受検
- ・動物公園駅ATC/TD地上装置更新
- ・車両基地耐震補強工事
- ・災害時異常時対応訓練の実施

以上

<お問い合わせ先>

千葉都市モノレール株式会社 総務部経営企画課

電話 043-287-8216